

市政に対する一般質問

綾瀬インター設置の諸問題に対する市の考え方を問う

日本共産党 松本 春男

問 (仮称綾瀬インターチェンジ環境影響予測評価実施計画書の審議資料に、審査会での意見として、本インターの型式であるトランペットB型は安全に望ましくなく、一般道とのT字交差点が渋滞するとあるが、市の考えは。また、海老名市長からの法律を遵守し、地元自治会との調

大震災を想定した諸問題に対する市の取り組みを問う

市民会議21 増田淳一郎

問 阪神大震災から今まで、多くの地震が発生し、日本列島は地震の活動期に入ったといわれている。震災に備え、市役所に設置してある非常電源装置を使用して、装置の点検も兼ねて一日仕事をしてみてはどうか。6月に質問した人工透析施設設置に関し、市内医療機関に問い合わせ

本市の重度障害者医療費に対する今後の対応について

綱嶋 洋一

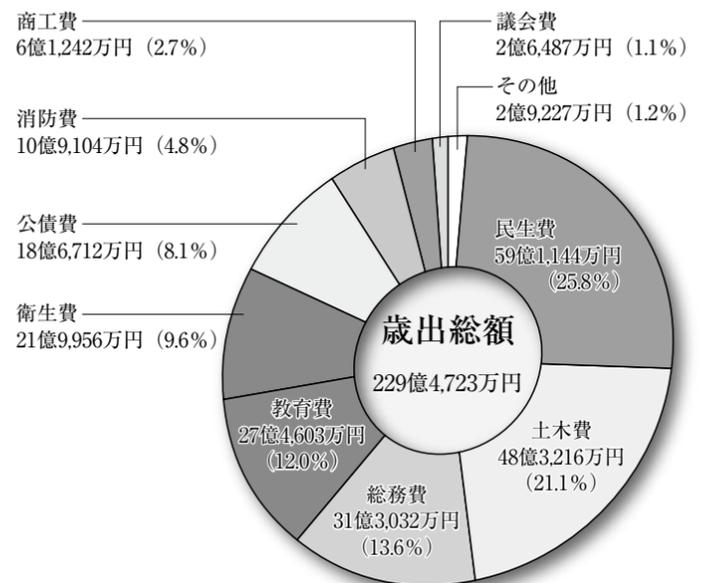
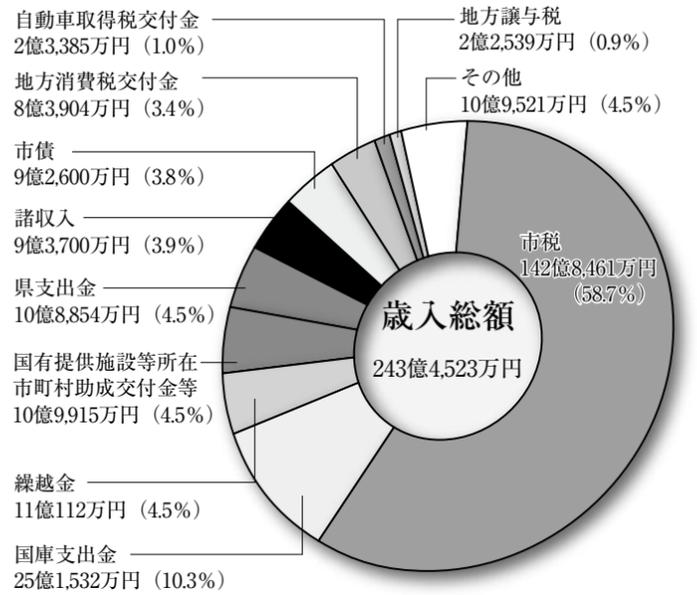
問 重度障害者医療費助成制度は小児医療費助成制度と並び、経済的負担の軽減を図り、対象者の健康保持と生活の安定に寄与することを目的とした制度である。この制度について、県は今年10月から通院時200円、入院時1000円の一部負担金を導入し、65歳以上の新規重度障害



9月26日、スポーツセンターで、第30回綾瀬市長杯ゲートボール大会が開催されました

者を対象外としている。また、来年10月からは所得制限も導入するとしている。本市では県の制度改正にかかわらず、一部負担金の導入や新規対象者の年齢制限の設定、所得制限の導入をすることのないようお願いしたいが、市長の所見を問う。
答 本市では、障害者自立支援法の施行以来、障害者やその家族から福祉サービスの負担金を徴収することになった。後期高齢者医療制度発足に伴い、障害のある高齢者の間に不安が高まっている中、ここで新たな負担をしてもらうことは、当面は困難であると判断した。従って、今年度の一部負担金導入と65歳以上の新規重度障害者を助成対象外とする対象者の見直しは当面実施しない。また、平成21年度以降の所得制限を含めた見直しも、重度障害者に新たな経済的負担が及ばないためにも当面実施しない考えである。(ほかに「消防の広域化について」を質問)

一般会計決算歳入・歳出の状況



市民1人当たりの歳出決算額

284,652円

※一般会計歳出総額22,947,225,895円を平成20年3月31日現在の人口80,615人で割ったもの(歳出の内訳)

-  **民生費 73,329円**
社会福祉や児童福祉など
-  **土木費 59,941円**
道路・公園・計画的なまちづくりなど
-  **総務費 38,830円**
行政の運営など
-  **教育費 34,063円**
学校教育や生涯学習の充実など
-  **衛生費 27,285円**
保健やごみ処理など
-  **その他 51,204円**
借入金の返済、消防・救急活動の充実、商工業・農業の振興など

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。9月定例会では、9月18日・19日の本会議で12人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です。(掲載は質問順、5面まで続きます)